

株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日（中間配当を行う場合）
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711（通話料無料）
公告方法	電子公告 公告掲載URL http://www.mapple.co.jp/ （ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に公告いたします）
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所
証券コード	9475



株式会社 昭文社

〒102-8238 東京都千代田区麹町三丁目1番地
TEL03-3556-8111（代表）

お知らせ

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株主の皆さまへ

第53期 年次報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

株式会社 昭文社

株主の皆さまには、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社の当期（第53期 平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の事業活動をご報告申し上げます。



代表取締役社長
黒田 茂夫

■ 当期の業績

電子事業ではPND（簡易型カーナビゲーション）市場の拡大に伴い、アプリケーションソフト『マップルナビ』の売上が急速に増加しました。出版事業では東日本大震災の影響等により大量の返品が発生しましたが、新シリーズの出版に加え『ことりっぴ』シリーズの点数増加、改訂版出版もあり昨年と同水準の売上を確保することができました。

これにより当期の連結売上高は155億86百万円となり、前期実績を上回る結果となりました（前期比3億1百万円、2.0%の増加）。損益面では、『マップルナビ』の売上拡大による増益要因はありましたが、返品増加や新刊商品に伴う原価の増加による減益要因に加え、急速に市場拡大するスマートフォン向け新サービス提供のための研究開発費用、各種プロモーション費用の発生もあり、当期の営業利益は11億41百万円（前期比5億52百万円、32.6%の減少）と、前期実績を大きく下回る結果となりました。経常利益は11億4百万円（前期比6億14百万円、35.8%の減少）となっております。

特別損益では前期のような大きな特別損失の計上がなかったことにより、税金等調整前当期純利益は10億19百万円と前期実績と同水準の利益を確保することとなりましたが、一方で、退職給付会計における前払年金費用の発生等の影響による法人税等調整額1億87百万円を計上したことにより、当期純利益は前期に比べ2億14百万円（21.0%）減少の、8億6百万円となりました。

■ 当期の配当

当社は株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置づけており、利益配分につきましては会社の業績や経営環境を勘案しつつ、安定的な配当の継続を行うことを基本方針としております。

当期の利益配当金につきましては、上記基本方針を考慮し、前期同様、普通配当を1株につき20円とさせていただきます。

■ 次期（第54期）の業績見通し

近年、当社グループにおける従来の主力事業である出版事業では、依然として厳しい事業環境が続いておりますが、一方で電子事業ではスマートフォン等モバイルツールの普及拡大が急速に伸びており、新たなビジネスチャンスも多くなってきております。

電子事業においては、『マップルナビ』では単なる経路誘導にとどまることなく、より多くの楽しさを提供できるナビゲーションを提供してまいります。また利用者が急増しているスマートフォンに向け、利便性の高いアプリケーション開発にも注力し、今後の新しい市場を築いてまいります。さらには出版物と連携したサービス『マップルリンク』も積極的に展開してまいります。

出版事業では利用者のニーズに合った、役に立つ商品制作に努め、積極的に展開することで購買意欲を喚起するとともに、利益の減少要因である返品を減少させるべく、今まで以上に返品抑制戦略を徹底し、市場在庫の適正化を進め返品減少を実現してまいります。

そのためには当社グループ保有のコンテンツの強化充実や新しいサービスを実現するための技術の研究が重要であると判断し、行ってまいります。このように、今後の当社グループにおける業績向上には電子事業の早期拡大及びそのための積極投資が欠かせないものと判断しております。

このような方針のもと、次期の業績につきましては、売上高157億90百万円（前期比1.3%増加）、経常利益7億60百万円（前期比31.2%減少）、当期純利益5億円（前期比38.0%減少）を見込んでおります。

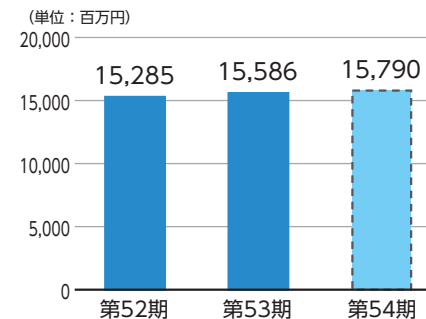
当社グループは、旅行や観光事業の分野に貢献し、人々を明るく元気にする情報提供企業として飛躍を続けてまいります。株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

連結業績ハイライト

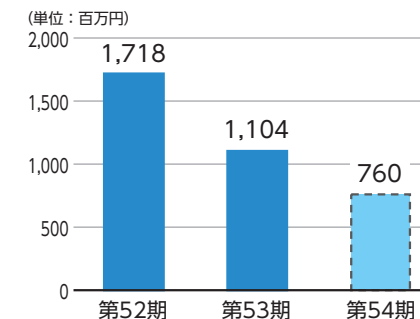
(単位：百万円)

	第52期 平成22年 4月 1 日から 平成23年 3月31日まで	第53期 平成23年 4月 1 日から 平成24年 3月31日まで	増減額
売上高	15,285	15,586	301
営業利益	1,694	1,141	△552
経常利益	1,718	1,104	△614
当期純利益	1,021	806	△214

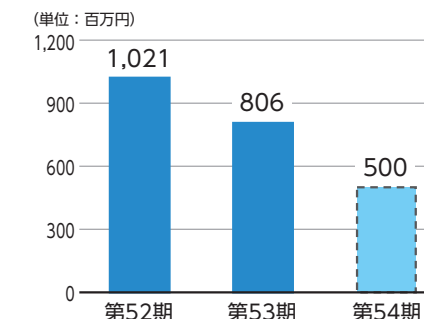
売上高



経常利益



当期純利益



前期連結決算において、のれん一括償却額を計上することによって、特別損失等を訂正することになりました。また、過年度の会計処理において、「税効果会計における土地の評価益、評価損に関する繰延税金資産、繰延税金負債の計上」に誤りがあったため、過年度決算の遡及修正を行いました。本報告書記載の財務関連数値は、これらの訂正を反映したものとなっております。株主の皆さまにはご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

セグメント別の概況

	第52期 平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで	第53期 平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	増減額
売上高			
電子事業	4,962	5,202	240
出版事業	10,416	10,530	114
売上高合計	15,378	15,732	354
営業利益			
電子事業セグメント利益	962	1,060	97
出版事業セグメント利益	2,053	1,472	△580
セグメント間消去及び全社費用等	△1,321	△1,391	△69
営業利益合計	1,694	1,141	△552

※各セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高を含めています。

電子事業

- 売上高 **52億02百万円**
- セグメント利益 **10億60百万円**

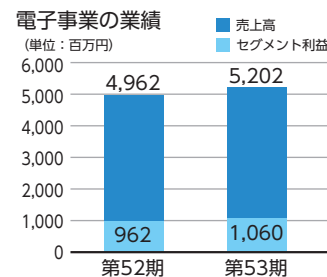
当期はナビゲーション市場において、PND（簡易型カーナビゲーション）の普及拡大が急速に進んだことに加え、大手カーナビゲーションメーカーに採用されたこともあり、アプリケーションソフト『マップルナビ』の売上が大きく伸びる結果となりました。当社独自のガイド情報コンテンツも多くのカーナビメーカーに提供することができております。

また当社の重要な課題であるモバイルツールへの対応として、利用者が急増しているスマートフォン向け『ことりっぷ』アプリに続き『MAPPLEガイドナビ』、『震災時帰宅支援マップ』、『京都はんなり寺巡り』、『GOLFな日』等多くの新アプリケーションを提供してまいりました。

さらに当社出版物とスマートフォンとの連携により、利用者の方々に、より便利な機能を提供するデジタル付録『マップルリンク』も提供してまいりました。

この結果、当期の電子事業の売上高は52億2百万円となり、前期に比べ2億40百万円（4.8%）増加しました。

損益面では、売上増加に伴い利益が増加した一方で、各種データの強化充実におけるコスト増加やスマートフォン向けアプリケーションの開発コストの増加等もあり、当期における電子事業のセグメント利益は10億60百万円となりました（前期比97百万円、10.2%の増加）。



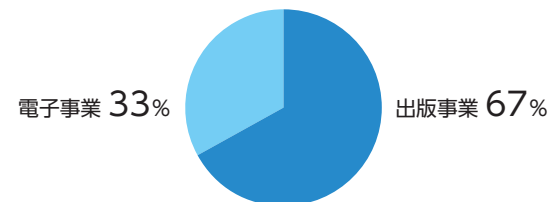
『マップルナビ』の画面



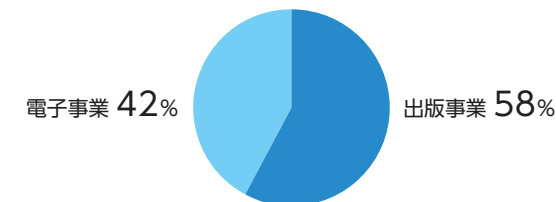
スマートフォンアプリ『京都はんなり寺巡り』

(単位: 百万円)

売上高構成比



セグメント利益構成比



出版事業

- 売上高 **105億30百万円**
- セグメント利益 **14億72百万円**

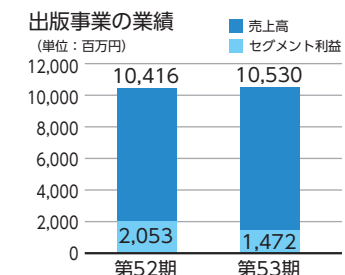
市販出版物では厳しい市場環境のなか、期首に東日本大震災の影響で返品が大量に発生しましたが、新シリーズ『ぶらっと散歩コース』や『ことりっぷiforte』、『B級ご当地グルメ』等の出版やヒットシリーズである『工場見学』や『ことりっぷ海外版』の点数追加出版、また第4四半期には好評な国内ガイドシリーズ『ことりっぷ』の改訂版出版等を積極的に行った結果、前期と同水準の売上を確保することができました。

前期震災影響で大きく落ち込んだ特別注文品においても各自治体の観光施策の影響もあり売上を伸ばすことができました。

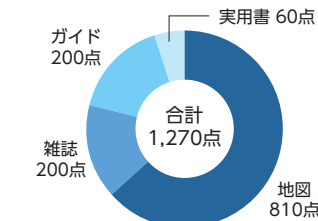
3月には中国総合広告企業WOMEI Mediaとの業務提携により、中国国内の航空機や高速鉄道内で配布される雑誌への綴じ込み型冊子として、日本の観光情報を紹介する冊子『Various Japan』を提供いたしました。これにより今後の中国国内向けフリーペーパー事業への参入及び日本国内観光のインバウンド事業への足がかりをつけることができました。

この結果、当期の出版事業の売上高は105億30百万円となり、前期に比べ1億14百万円（1.1%）の増加となりました。

損益面では、震災影響による返品や『ことりっぷ』、『マップルマガジン』の改訂に伴う入替返品の増加に加え、新刊商品の積極的出版に伴い売上原価の水準が高めに推移したこともあり収益は悪化しました。またブランド戦略の一環として行った各種プロモーション費用の増加もあり、当期における出版事業のセグメント利益は14億72百万円と前期実績を大きく下回る結果となりました（前期比、5億80百万円、28.3%の減少）。



市販出版物品別出版点数



『工場見学』



『ことりっぷ』改訂版

● 本のご購入者特典サービス『マップルリンク』提供開始

— 街歩きをもっと簡単に、もっと楽しく！ —

アプリサービス『マップルリンク』は、お買い求めいただいた当社商品（『まっぷるマガジン』や『ことりっぷ』）に掲載されているQRコードをお手持ちのスマートフォン、携帯電話で読み込むことによって、紙面で紹介されているスポット情報と付録の地図が無料*でご利用いただけるご購入者特典サービスです。

*各通信会社の通信料が別途かかります。パケットサービスをご利用の場合は、送受信の通信料がかかります。

『マップルリンク』はスマートフォンでのご利用が特に便利です。

旅やお出かけの際、ガイドブックでプランニングした見どころやお店を事前にお気に入り登録することで、スマートフォンの地図上で持ち歩くことができますので、ガイドブックを開かなくても、手軽に、様々な情報を確認できます。

地図画面ではGPS機能を利用して現在地と目的スポットの位置関係を確認できるほか、ウィンカー機能を利用すれば、目的地までの方向を常に表示できます。地図は端末にダウンロードするタイプのため、通信環境に左右されることなく使用できます。ほかにも、現在地と目的地のおおよその距離を計測する機能や現在地周辺のスポット情報を検索する機能などを備えております。

当社グループは、ご旅行の計画に役立つガイドブックと、ご旅行時に役立つアプリサービスを連動させることで、皆さまにとってより楽しく、より満足のいくお出かけの情報を提供してまいります。



● 中国国内向けフリーペーパー事業に参入

— 日中両国の観光旅客市場の発展に寄与 —



当社は総合メディアグループWOMEI Mediaと業務提携し、その傘下にある北京沃美广告有限公司（以下、沃美社）と中国国内でのフリーペーパー事業について合意書を取り交わし、沃美社発行の主に富裕層向けのフリーペーパーに、当社の観光特選情報を提供していくこととなりました。当社はフリーペーパーに綴じ込まれる冊子『Various Japan』の企画・編集・広告を担当しており、平成24年3月発刊分から中国国内の高速鉄道、航空機内で配布が開始されております。

『Various Japan』は当社が長年培ってきた強みである日本国内及び海外の観光特選情報を中心に、特集と連載で構成されています。日本国内の各種企業・団体とのタイアップ記事や新商品広告も豊富に掲載してまいります。

当フリーペーパーは都市間を結ぶ高速鉄道車内及び中国の国内・国際線の機内に合計50万部以上設置されることから、閲覧率も高く、中国市場向けに幅広く告知できる画期的な広告媒体になるものと見込まれます。

当社の観光コンテンツが中国国内で提供されることを通じ、多くの中国人観光客に旅行に出かけていただくことが、日中両国の観光旅客市場の発展に寄与できるものと考えております。

WOMEI Media

優れた媒体リソースを扱う総合的なメディアグループ。CCTV（中央電視台）、雑誌などの媒体を利用して、高品質な広告チャンネルを提供しています。

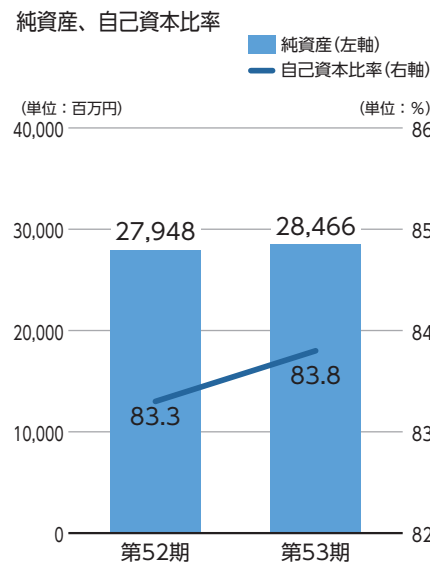
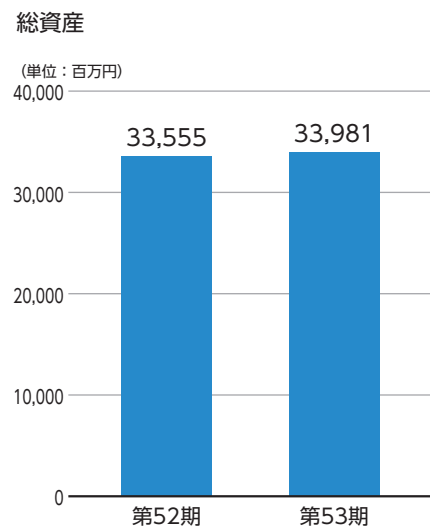
北京沃美广告有限公司

1999年に設立された総合広告代理店。設立から約10年で、業界トップクラスの地位を築きました。取扱媒体は、テレビや雑誌などのメディア媒体をはじめ、映画館や空港、ショッピングセンターなどの各種屋内・屋外媒体、ネット広告媒体など多岐にわたり、特に中国国内の富裕層（高収入・高学歴層）を対象とする媒体に力を入れています。

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	第52期	第53期
	平成23年3月31日現在	平成24年3月31日現在
資産の部		
流動資産	15,098	16,070
固定資産	18,456	17,910
有形固定資産	9,586	9,350
無形固定資産	6,609	6,116
投資その他の資産	2,261	2,443
資産合計	33,555	33,981
負債の部		
流動負債	4,299	4,488
固定負債	1,307	1,026
負債合計	5,607	5,515
純資産の部		
株主資本	27,792	28,266
資本金	9,903	9,903
資本剰余金	10,708	10,708
利益剰余金	7,704	8,179
自己株式	△524	△524
その他の包括利益累計額	155	199
純資産合計	27,948	28,466
負債純資産合計	33,555	33,981



連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	第52期	第53期
	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで
売上高	15,285	15,586
売上原価	9,355	10,217
返品調整引当金繰入差額	△22	△132
売上総利益	5,952	5,501
販売費及び一般管理費	4,258	4,360
営業利益	1,694	1,141
営業外収益	82	67
営業外費用	57	105
経常利益	1,718	1,104
特別利益	25	5
特別損失	717	89
税金等調整前当期純利益	1,026	1,019
法人税等合計	5	213
当期純利益	1,021	806

連結株主資本等変動計算書 連結会計年度：平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：百万円)

	株主資本				株主資本合計	その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
平成23年3月31日 残高	9,903	10,708	7,704	△524	27,792	149	6	155	27,948
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△332		△332				△332
当期純利益			806		806				806
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額 (純額)						44	△0	44	44
連結会計年度中の変動額合計	—	—	474	△0	474	44	△0	44	518
平成24年3月31日 残高	9,903	10,708	8,179	△524	28,266	193	6	199	28,466

財務諸表の詳細は当社ホームページでご覧いただけます。
URL <http://www.maple.co.jp/corporate/ir/>

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	第52期	第53期
	平成22年4月1日から平成23年3月31日まで	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,028	1,666
投資活動によるキャッシュ・フロー	△773	△483
財務活動によるキャッシュ・フロー	△346	△395
現金及び現金同等物の増加額	908	787
現金及び現金同等物の期首残高	6,966	7,874
現金及び現金同等物の期末残高	7,874	8,662

連結キャッシュ・フロー計算書の推移



株式の状況

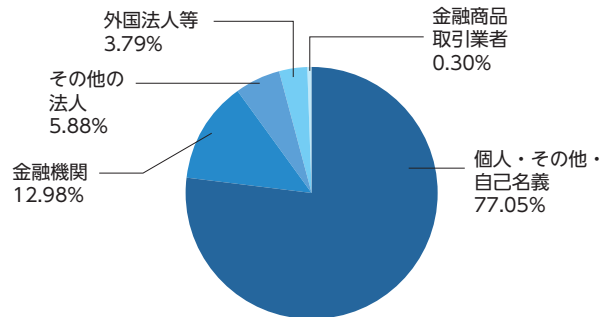
発行可能株式総数	57,000,000株
発行済株式の総数	17,307,750株
株主数	21,466名

大株主 (自己株式を除く上位10名)

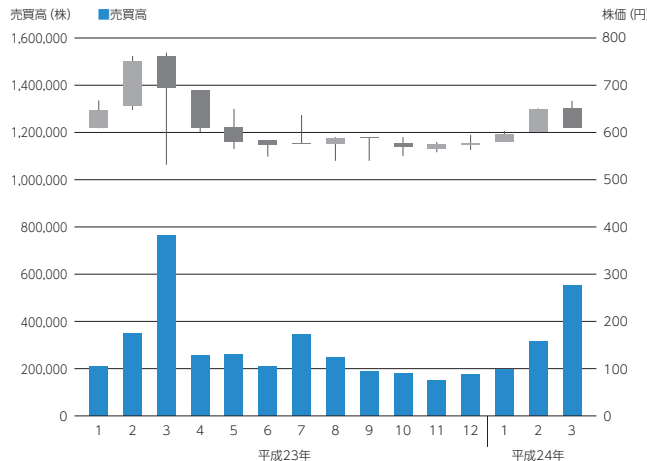
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
黒田 敏夫	3,574	21.49
黒田 茂夫	1,699	10.22
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	898	5.40
昭文社社員持株会	576	3.46
株式会社三井住友銀行	347	2.08
CBNY-DFA INVESTMENT TRUST COMPANY- JAPANESE SMALL COMPANY SERIES	336	2.02
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	323	1.94
株式会社三菱東京UFJ銀行	189	1.13
株式会社 ファウンダー・マップル	180	1.08
株式会社エムティーアイ	174	1.04

※持株比率は自己株式 (678,864株) を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



株価と株式売買高の推移



会社概要 (平成24年3月31日現在)

商号	株式会社昭文社
創業	昭和35年5月
本社所在地	東京都千代田区麹町三丁目1番地
資本金	99億387万円
従業員数	単体380人、連結500人
事業内容	SiMAPを中核とし、それを活用した地図・雑誌・ガイドブックの企画・制作及び出版販売を行う「出版事業」、ならびにデジタルデータベースの企画・制作・販売及びそれらを活用したサービスを提供する「電子事業」を展開
本社	東京都千代田区
大阪支社	大阪市淀川区
制作本部	東京都江東区
テクノセンター	東京都中央区
仙台営業所	仙台市若林区
横浜営業所	横浜市西区
名古屋営業所	名古屋市千種区
福岡営業所	福岡市中央区
東京商品センター	東京都足立区
大阪商品センター	大阪府摂津市
埼玉製本センター	埼玉県加須市

※テクノセンターは平成24年4月、制作本部に統合しております。

株主優待のご案内

当社では、当社の事業についてより深くご理解いただきたく、株主優待制度として、平成24年3月末日現在、100株以上ご所有の株主様に3,000円相当の当社商品を進呈しております。

本年は『トラベルデイズ パリ』及び『なるほど知図帳 日本』の2冊をセットでお送りいたします。

株主優待品は7月中の発送を予定しております。

株主優待品の発送についてのお問い合わせ

株主優待事務局 (平成24年9月末まで)
0120-770-383 (受付時間 9:00~17:00/土・日・祝日を除く)

役員 (平成24年6月28日現在)

代表取締役社長	黒田 茂夫
取締役	大野 真哉
取締役	内田 次郎
取締役	熊谷 隆司
取締役	清水 康史
常勤監査役	立川 喜久夫
監査役*	関 聡介
監査役*	桑野 雄一郎

*社外監査役

関係会社 (平成24年3月31日現在)

キャンバスマップル株式会社
東京都中央区
[事業内容]
ナビゲーション用地図ソフトウェアの開発・企画制作・販売
株式会社昭文社デジタルソリューション
千葉県市原市
[事業内容]
マッピング・Webサービス事業及びシステムソリューション事業
株式会社マップル・オン
東京都中央区
[事業内容]
モバイル (携帯・スマートフォン) 向けアプリケーションソフトの企画開発・販売及びWeb広告事業

※キャンバスマップル株式会社及び株式会社マップル・オンは平成24年4月、本店所在地を東京都中央区から東京都千代田区に変更しております。

